

図書館利用者と南田中図書館長との懇談会

- 1 日時 平成 30 年 10 月 28 日（日） 13 時 30 分～15 時
- 2 場所 南田中図書館 2 階 会議室
- 3 参加者 利用者 10 名
図書館 4 名
(南田中図書館長、館長代理 2 名、スタッフ)
- 4 テーマ 「これからの南田中図書館を考える」
- 5 配付資料 (1) 南田中図書館の概要（レジュメ）
(2) 南田中図書館の今後のイベントチラシ
(3) 図書館だより
- 5 次第 (1) 南田中図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 図書館概要説明
(4) 懇談
(5) 南田中図書館長挨拶

図書館利用者と南田中図書館長との懇談会 会議録

1 南田中図書館長挨拶

本日は南田中図書館の懇談会にお忙しい中お越しいただきまして、誠にありがとうございます。南田中図書館長でございます。

まずこの会の趣旨についてですが、練馬区の図書館12館全館で行われております。10月27日から11月9日の間で各館の館長が主催する懇談会を行うということで、みなさまの地域のご意見やご要望などを伺い、図書館で協議しましてホームページ等でまた皆様にお伝えするという流れになっております。いろいろな意見を集約できたらと考えております。南田中図書館については、私の方でお答えする事もございますが、練馬区の図書館全体のご意見に関しては光が丘図書館に私の方から伝えまして、後日ホームページで掲載をする予定でございます。

また今年度から、こちらの会の議事録を取らせて頂き、ホームページに掲載する予定でございます。お時間のある時に、そちらも見ていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

2 図書館職員紹介

館長代理 2名

3 図書館概要説明

(1) 教育要覧に基づく練馬区立南田中図書館事業等の紹介

ア 南田中図書館の施設概要

開館10周年を迎える

イ 所蔵資料数、利用状況等

過去3年間の利用登録者、来館者、貸出人数、貸出点数の推移（練馬区教育要覧平成30年版より）

ウ 南田中図書館の特色

“ご近所図書館”という地域の方の拠点となる情報文化センターの役割を果たすことを目的としている

エ 図書館事業紹介及び説明

- ①おはなし会などの児童事業
- ②環境をテーマとした事業としての活動
- ③学校支援事業
- ④青少年の事業活動
- ⑤地域支援事業（出張おはなし会、団体貸出など）
- ⑥その他事業

4 懇談会

利用者 （5ページの来館者数、貸出人数、貸出者数の減少について）石神井公園に受取窓口というのが出来たのですが、図書館に来なくても本が借りられるというようなことも影響しているのでしょうか。

図書館 そこまでの分析はちょっとできないのですが、おそらくあるとは思いますが。

利用者 私の場合、決まったものを借りる時は、予約して窓口に、いろんなものを探したいときは図書館を利用しています。そういう感じになっているので、これを見てちょっとびっくりしたのですが、私と同じような方が窓口に行かれるせいかなとちらっと思ったものですから。

図書館 それはあるかと思います。それだけでは無いかもしれませんが。

利用者 区立の他の図書館の状況についてはどうなのでしょう。これを見ると利用登録者数は増えているが、来館者数は減っている。石神井図書館や光が丘図書館などの大きい図書館などの他に、サテライト図書館の位置づけになる、大泉図書館や南大泉図書館の状況はどうなのかなと。他の図書館が増えている、ここが減っているという事ならばこちらの問題でしょうし、練馬区内全体的に下がっているのなら根本的な考え方を変えなければいけないのかなと思うのですが。

図書館 図書館の場所によって、立地の不便な図書館は区内でも利用者が減っているようです。受取窓口が近くにある図書館では、来館者が減っているようですが、図書館によっては減少が少ない館もあるようです。図書館全体としての課題だと思われます。

利用者 最近は図書館の本で調べるというよりも、ネットで簡単に調べられるという事があるので、それが良い事かどうかというのはまた別にしても、楽に簡単に調べられるというと、やはりネットなのかなと。私は逆に最近稲荷山図書館によく行っているんですが、あそこは昆虫の専門館のようにっており、やはり専門分野に特化してしまうと、それを楽しみにしている人以外は足を運びにくくなるのかなという気がします。

利用者 私も伺いたいことがあるのですが、来館者数はどうやってカウントしているんでしょうか。

図書館 出入り口に持ち出し防止のゲートがあるのですが、同じところで入館と退館で1カウントといたしまして、来館者数を数えております。

利用者 なるほど、そうすると1日に何度も出入りする方はその分カウントされてしまうということですね。

図書館 そうですね。

利用者 私は質問ではなくお礼です。実は学童クラブのものなのですが、学童クラブ

というのは放課後保育が必要な児童を預かる児童福祉施設です。小学生になると、自分の家の鍵を持っていて、親が帰ってくるのを待つのですが、稀に自宅の鍵を忘れてくるお子さんがいます。学童は6時で終わってしまうので、一回家に帰ったのだけど、家の鍵がなくて、児童館に戻って来る。児童館で親御さんに電話するのですが、仕事があって帰れない。親御さんが「隣の図書館で待っていなさい。」という事がたまにあるのです。ここは夜8時まで開いているので、非常に助かっています。ランドセルを背負った小学生が夜遅い時間にたまにいるかと思うのですが、親御さんを待っている小学生だと思って温かく見守っていただきたいなと思いまして、そういう利用をしているお子さんもいるということをご承知おきください。夜8時まで開いている、しかも土日も開いているという所は、福祉的な課題を持ったお子さんにとっては非常にありがたい存在なのです。何時間いても無料で、空調は効いているし、水は飲めるし。ただ騒いではいけないですけど、それさえルールを守っていればここで過ごすことができる。大人の目もあるという事で大変ありがたく思っております。

もう一つ、これは提案なのですが、今南田中図書館の事業を見たところ、中高生向けの事業が山盛りではないだろうなという気がしました。児童館でできればいいのですが、学習支援という点です。塾に行けるお子さんは良いのですが、家庭的にお金が無くて通えない、でも支援が必要だというお子さんが実はたくさんいるのです。練馬区内の児童館でも週に何回か中高生の学習支援、塾の代わりみたいな事をやっているのですが、そこは委託している児童館なので毎日中高生対応を夜7時までしている所なのですが、南田中児童館は館の直営でやっていますから、週2回しか中高生タイムがない。なかなか実施が難しい。そこで、この会議室等で自習している学生さんがいらっしゃいますが、中高生に向けた、30分でも1時間でも、学習支援みたいなプログラムがあったら素晴らしいなと思ったわけです。

図書館

実は図書館のスタッフから夜遅く、夏であればよいのですが、冬には日が早く落ちますので、夜7時8時まで小学生がここにいてよいのかという話がありました。追い出す訳にもいかないし、声をかける訳にもいかないし。練馬区は無いのですが、23区の他の図書館の事例ですと、児童室が夕方5

時に閉まるという館もあります。それは防犯上の理由からなのですが、南田中図書館は開いておりますのでスタッフの方では注視して、何か事件や事故があってはいけないと見守っています。「もう遅いから帰りなさい。」という事は言えないというのはスタッフに言ったのですが、今の話を聞いてなるほどと納得いたしました。

利用者 (保育園の) 保護者の方と図書館を繋げられるような活動が出来ていないと思っています。日々便りというものを毎日発行しているのですけれども、図書館での出来事をお伝えして、(保護者にとって) 身近なところになるような活動をしていくにはどうしたら良いのかを考えている所です。

利用者 レベルの低い話しで恐縮なのですが、大分涼しくなってきましたけれど、夏に臭いの気になる人がいたり、新聞を2、3紙いっぺんに読んでぐしゃぐしゃにして返す人がいました。それで、一度私と知り合いの人でもう少しマナーに気を付けてくださいと注意した事があったのですが、翌日からその人は来なくなってしまって、来館者数が減ってしまったんです。この図書館の方も、巡回という腕章を付けて回ってらっしゃるんですが、あんまり貫禄のない人が回っても、たとえば男の人とか、館長とか、それくらいの方に回っていただきたいなど。私も注意しづらいので、最近は黙っているのです。そんな所が気になります。

図書館 新聞は何紙も持っていかないようにアナウンスはしているんですけども、朝一番に来て持っていく方がいて、最近は朝スタッフが立って確認をしております。

利用者 朝は特にひどいから、最近は朝来ないようにしています。ぐちゃぐちゃにしてぼんと戻してきたりするので。

利用者 スタッフが立っていると、何紙も持っていくような事はしないですか。

図書館 そうですね。職員が誰も立っていないのと、立って1紙ずつお願いしますと声をかけるのでは、抑止力にはなるかと思います。

利用者 職員の方はちょっと大変ですね。

利用者 図書館のスタッフの方は、来ているお子さんに対して夜小学生がいたりする場合、声をかけることはできないのですか。

図書館 声をかけても良いのですが、そこまでプライベートに踏み込むのも。

- 利用者 例えば、見ていて一人さみしくいるような子に、「もう暗くなったから、帰るときは気を付けてね。」というような話をするとか、少し立ち入った子ども達を見守るというような事は、やってはいけないんでしょうか。いけなくはないのでしょうか。
- 図書館 いけなくはないです。
- 利用者 そこまで出来た方が、さっきの抑止力じゃないですが見守るという形では良い場合もあるのではないかと。
- 図書館 そうですね。ちょっと難しいところもありまして、低学年くらいまでなら良いのですが、高学年、中学生くらいになりますと逆に声をかけられたくない方も多くなりますので、そっとする場合があります。
- 利用者 登校拒否等、一時学校に行きたくなかったら、図書館へ行きなさいという、自ら社会へ入れないで逃避しようという気持ちの時もあると思うんですね。そういう時に図書館を利用するというのは、安心でもあるし、逃げ場になって欲しいというか、緊急時の避難場所というとおかしいですが、そういうあり方もあるのかなという気はしますよね。なかなか、この館は特に閲覧する場所というのは少なくて、会議室を臨時の閲覧室として使われているようですけれども。急に閲覧室を増やすというのは難しいとは思いますが、会議室は貸出もされていますよね。全部を貸し出すのではなく、カーテン等で仕切って半分だけ貸出し、閲覧席を確保する等が出来ればよいと思うのですが。2階の児童室をうまく使うというのも一つあるとは思いますが。
- 利用者 図書館は調べものもできる、勉強もできるというのが売りだと思うのですが。
- 利用者 今、週末の過ごし方がうまくない保護者が増えていまして、テーマパークで過ごして子ども達が疲れて保育園に来るという事も多いですが、自然豊かな練馬区で、地元の図書館でいろいろ行っている事を知り、保護者にうまく発信していけたら、と思いました。
- 利用者 私は今、この図書館で対話の会を4回行っているのですが、図書館に来る方というのは本の貸し借りだけでなく、居場所を求めていると感じました。駅前の受取窓口は確かに便利ですが、図書館にあえて来るという意味は別にあるだろうと。本来図書館はおしゃべりをしてはいけない場所なのですがそれでも、現在、私は図書館で真逆のイベントを行っているのですが、その場の方

たちからは図書館の居場所性と図書館の人との関わりを求めているのかなと感じました。

図書館 図書館としてはプレッシャーにも感じる所です。今までの業務、プラスアルファを求められているというのはひしひしと感じられました。

利用者 それをサービスとして提供しなくてはいけないという所までじゃなくてもよいのではないですかね。きりがなくなってくるので。自分は、本を借りに来るという以外の魅力を来館した人が感じられれば、来館者数には反映されない所でファンが増えてくれば良いのではないかと。

利用者 ここ数年話題になる図書館は、飲食しながら本を読めるとか、大規模な図書館でおしゃべりができる場所と閲覧室の切り分けがしてあるような所で、来館者が多くなっているというのをニュースで見たような気がします。

私の図書館の利用法というのは、職員の方にレファレンスガイドをお願いしてしまう。例えば、ドングリを調べたいとしても、植物的なドングリもあれば、民俗学的なドングリもあり、美術工芸としてのドングリもあるので、何を調べたいと言われて、ドングリというキーワードだけでネットで調べて、中身を見ないと分からないという事になってしまうのですね。こういう本があったはずなのだけど、と思って聞いてみると、書庫に移動しましたという事がある。この図書館にお願いしたいのは、どこかでタイトルだけでも閲覧できるようになっているといいのと思う。せめて閉架書庫の本のタイトルくらいは覗いてみたいと。ネットで調べれば簡単に分るのでしょうけれども、実際にここに来て、何冊か本を手にとってこれに関連してこういう本もあるという、あまり気にしないでください。

図書館 いえ、貴重なご意見ありがとうございます。できる範囲でご要望にお応えしたいと思います。

利用者 こちらの図書館の職員の方は質問した事に、質問した内容についての的確に答えてくださるし、到着した本はメールですぐ連絡してくださるし、とっても仕事ぶりは立派ですね。

図書館 ありがとうございます。

利用者 いつも感心しているのです。

利用者 この館にはない本でも、他の区にある本でもちょっと時間がかかるけど取り

寄せましょうかと声をかけてくれるので、大変ありがたいなと思っています。

利用者 練馬区内だけでなく、区外の図書館や国立国会図書館の所蔵まで調べてくださって、その検索力はすごい。いつか朗読の本について聞いた事があったのですが、この棚以外にもこちらの棚にもあるのではという風に全部探して下さって、打てば響くような答え方をしてくださるので、とてもいいと思っています。

図書館 ありがとうございます。本日の話しは、職員に伝えておきます。

利用者 保育園のおはなし会をこちらで行っていただいているのですが、ここで主催しているおはなし会は土曜日とかが多いので、もし一緒におはなしが聞ける機会があればいいなと思っているのですが。うちのお子さん達がなぜ一緒に聞けないかという、奇声を発したりしてしまうという事があってなかなか難しいのですけれども、練習のためにお話しが聞ける機会があればなんですけれども。前に公園で紙芝居をしてくださった事もありましたが、土曜日に行っていたので、うちのお子さんも土曜日はいないので、平日のこの時間にやりますよと宣伝して、やっていただくといろんなお子さんが参加できるのではないかなと思ひまして。11時前後なら一番活動している子供たちが来るのではないかと思います。宜しくお願いいたします。

利用者 児童館も使って下さい。

図書館 いずれは児童館ともイベントができたらと思っておりますが、なかなか機会がありません。

利用者 場所は児童館で提供する事ができますし、うちは騒いでいただいても構いませんので。

利用者 図書館は担当というのはあるのでしょうか。児童館だとありますよね。うちの家は谷原のほうなのですが、児童館も図書館も子ども達が自分で行ける距離というのがなかなかないですね。児童館は一応学校にお知らせがくるので、三原台児童館が担当なのかなと思います。図書館も高野台の教育センターはあるので、本の貸し借りは出来るのですけれども、子供は特に、自分で本を見て選びたいのですが、子ども一人では来させられない。ですので、イベントのチラシ等を今回見て、いいなと思ったんですけども、お知らせはどういう風にされているのでしょうか。

- 図書館 必ずというのだと、図書館のホームページになります。
- 利用者 そうなのですね。南田中図書館さん、良い事をやっているのに知らなかったと思ったわけです。南田中の近所の方で、良く来ているなら、ポスターなどで知る事が出来るのでしょうかけれども、来ていないと分からないというのが。児童館の様に、1か月に一回でいいので、こんなことをしているというお知らせですとか。私は実際これ（本日配布のチラシを見て）に来たいなと思ったのですが、図書館に来ている人しか知らないのではないかと。
- 南田中図書館だよりも毎回いいな、欲しいなと思うのですが、どこでもらえるのだろうと。せっかく良い事をやっているのだから、周知するのは大事ではないかと思います。イベントで来てもらった方に本を借りてもらって、返すのは近くの館でできるのですから、またチラシをもらって利用につながっていけばいいのではないですか。もったいないです。
- 利用者 我々がやっている活動では、各図書館と石神井公園のサービスセンター、石神井ふるさと文化館、牧野植物園等に置いてもらう等、個人的な知り合いがあるという事で、なかなかすべてのところに置くというのは難しいと思いますし。どうしても近場というとおかしいですが、南田中も周辺じゃないと来にくいのではないかと。その辺の広報の仕方というのは難しいなという気がしています。
- 利用者 知らなくてすみませんが、ホームページ等はお持ちなのですか？
- 図書館 図書館のホームページというのがございます。
- 利用者 ああ、チラシ等もアップされている？
- 図書館 はい。
- 利用者 それがアップされていれば、自分で興味のある方は調べられるかと。貫井の子ども家庭支援センターというのは、チラシを作って、近所にも配っているんですが、結局イベント等はネットで見の方が若いお母さんが多くてホームページで見た方が来るのが多いですね。紙だと限りがありますからね。
- 図書館 ただ高齢の方だとネットは見ないという方もいらっしゃいますし、駅や郵便局等もお願いをしに行ったことはあるのですが、昔は空いていれば掲示してくれるという感じだったのですけれども、今は難しいですね。
- 利用者 町会の掲示板でもなかなか許可してくれないですね。

- 利用者 そうですね。自治会などでもだめだと言われます。
- 利用者 まあ、やるとしたら年間の計画というのをはじめに出して、近くなったら細かくチェックするという事の方がいいのかもしれないなど。
- 利用者 今後期待するサービスかはわからないのですが、階段の踊り場や柱の脇等にいろいろ面白い展示をされていて、とても素敵にできているなと感じました。お子さんの本もたくさん展示してあったりするのですが、小さいお子さんがいると、泣かれてしまったりして、なかなか図書館には来られないのですね。図書館交流会等のイベントもしていただいていて、そこで知り合った方がこども家庭支援センターに来て下さるという事もあります。本離れというのはどうしてもあると思うのですが、小さいころから本に親しんでいるといいのかなと思います。
- また、図書館で心配だと思われるお子さんがいましたら、貫井（こども家庭支援センター）に連絡下さい。いろんな目で見守っていくというのも大事かなと。
- 利用者 子育て交流会っていうのはすごく素晴らしいなと思うのです。年に2回なのがもったいない。年4回くらい行ってはどうかと思いました。
- 練馬区って人口がどんどん増えてきているので、こういう事に力を入れてすごく図書館としても良い事じゃないかなと。赤ちゃんが本に触れているというのはすごくいい事で、人口が増えるという事は、赤ちゃんも増えるのでぜひ今まで以上に力を入れて頂きたい。

5 南田中図書館長挨拶

今日のご意見ありがとうございました。中高生の利用者については気になることもありますので、児童館や家庭支援センターの方などとも連携を取っていけたらと思っております。また、来年10周年に向けて様々な事業を考えております。皆様にご協力をお願いすることがあるかと思っておりますので、その時はぜひお願いいたします。本日はお忙しい中本当にありがとうございました。